

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: R5年 3月 1日

事業所名 運動療育型児童デイぱぷらの樹東住ま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	室内不要なものは置かずに広いスペースを保つようにしている	広いスペースを保つようにする
	2	職員の配置数は適切である	6	1	仕事の分担を行っている	少ない人員でも運営できるよう個々の能力を上げる
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	必要情報は視覚情報として提示している	利用者様の特性に合わせて安全に設備配置する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	清掃、消毒は毎日行っている	内部監査を定期的に行い清潔を保つ
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	業務の引継ぎは都度電子媒体で行っている	業務改善で負担軽減。児童の支援を手厚くする
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	いただいたご意見はすぐに共有し改善している	指摘部分の改善を行い続ける
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	自社のホームページへ貼り付けます	外への見える化を強化する
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	定期的な研修の実施	末端の職員まで技術の落とし込み、実践を行う
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	面談を都度実施している	全ての方へのニーズに応えていく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	評価表を用い適宜評価している	情報漏れがないように努める
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	2		ガイドラインに沿って子どもと向き合って支援を行う
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	計画書をすぐ見れるようにしている	全職員が計画通りに支援する
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎月予定表を作成して提示している	利用者様満足度を高めるようにしていく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	話し合っって行事がマンネリ化しないようにしている	マンネリ化せず変化を起こし続けて楽しさを増やす
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	時間を決めて支援内容を分けている	全ての方へのニーズに応えていく

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼にて1日の流れを確認している	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	終礼にて1日の振り返りを行っている	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	ヒヤリハットを毎日記載している	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う、ヒヤリハットは毎日記載する
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的に面談を行って記録に残している	ご家族への聞き取りで振り返りをし、次の支援計画を立てて実行する
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	参加した場合は記録に残す	情報共有で滞りなく児童への支援に繋げる
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	3		必要に応じて取り組んでいく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	送迎時に情報共有のためのやり取りを行っている	情報漏れのないようにする
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	送迎時に情報共有のためのやり取りを行っている	情報漏れのないようにする
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		必要に応じて交流機会を作る
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6		部会の参加は積極的に行っていきたい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	電子媒体、ケース記録にて情報の共有をしている	情報漏れがないように努める
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		契約時にお伝えし都度不明点があればお伺いする
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		ガイドラインに沿って子どもと向き合って支援を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	電子媒体でも気軽に連絡できるようにしている	利用者様、ご家族に寄り添って困りごとに応えていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		必要に応じて交流機会を作る
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	電話以外にも電子媒体を使い連絡の取りやすい状況を作っている	なにかあればすぐに解決に向けて取り組む
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	広報誌の作成、配布を行っている	さまざまな角度から当法人のことを周知する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	鍵付き書庫にて保管	情報漏洩にならないようにする
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	電子媒体、ケース記録にて情報の共有をしている	情報漏れがないように努める
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	クリーンアップに参加している	地域の方との交流で良い街作りの一役を担えればと思う
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	すぐに見れるようにしている	緊急時、円滑に行動を起こせるようにする
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年2回避難訓練を行っている	実際に災害が起こった時に落ち着いて行動する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	一覧表を作り共有を行っている	服薬に関してはしたかの共有が必要
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	一覧表を作り共有を行っている	アレルギーによる事故を出さない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハットを毎日記載している	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う、ヒヤリハットは毎日記載する
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	定期的に研修を行っている	職員の無意識化に働きかけ虐待0を保つ
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	必要に応じて支援計画書に記載している	虐待や誤解のないように周知徹底をしたうえで支援する

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。